

◆第15回 論説文の分析的読解（4）／語句15（ことわざ2）

文章題では論説文を学習します。この回では、筆者の主張をわかりやすくするため、対比が用いられています。筆者はどちらに重きをおいているのかをおさえましょう。

語句は前回に続き、ことわざの学習をします。ことわざには、意味が反対のことわざがありますので、いっしょに覚えましょう。

◆第16回 論説文の分析的読解（5）／語句16（ことわざ3）

文章題では論説文を学習します。前回同様、この回では、筆者の主張をわかりやすくするため、対比が用いられています。筆者はどちらに重きをおいているのかをおさえましょう。

語句は前回に続き、ことわざの学習をします。動物名がふくまれることわざは、特にしっかり覚えておきましょう。

◆第17回 論説文の分析的読解（6）／語句17（外来語）

文章題では論説文を学習します。今回は、特に指示語がなにを指しているのかをおさえて、文脈を正しく読めるようにしましょう。

語句は外来語の学習をします。言葉と意味のみを覚えるのではなく、日常生活の中で使われている外来語にも注意をはらいましょう。

◆第18回 詩の分析的読解（1）／語句18（むずかしい語句）

文章題では詩を学習します。まずは詩を読んで具体的な情景を思いうかべましょう。そしてそこから作者の言いたいことをおさえましょう。

語句はむずかしい語句の学習をします。むずかしい語句とありますが和語のことです。あまりきいたことのない言葉かもしれませんが、意味と一緒に覚えましょう。

今月は平面図形について学習します。平面図形は難関中学入試でもよく出題される重要な単位ですのでしっかり勉強しましょう。基本事項（面積の公式や角度に関する性質など）を完璧に覚えることが大前提ですが、それを使えるようになるためには練習を数多くすることが大切です。是非、テキスト後半に収録されている「補充問題」なども利用してたくさん問題を解いていただきたいと思います。

動画視聴時のお願い

まずは自分の力で問題を解いてから動画を見ることをおすすめします。ただし、その単元の内容に関する予備知識が全くない場合は、動画から先に確認していただいて結構です。その場合、動画視聴後にもう一度解き直すとより定着が良くなります。また、先に問題を解いて間違えた場合も、動画を確認した後で解き直しをしてください。お子様が「解く→直す」の学習姿勢を4年生のうちに身につけることも大切です。

◆第15回 平面図形V

第15回と第16回は「三角形・四角形の実積」について学習します。まずは面積を求める公式を正確に覚えましょう。そして、「三角形の底辺と高さが垂直になっていることを確認する」など、正しく公式を使えるようになってください。今回も、できるだけノートに作図をしてから解くようにしましょう。

○必ず押さえてほしい問題・・・**1**、**2**、**3**、**6**

○宿 題・・・第15回補充問題

◆第16回 平面図形VI

第15回に引き続き「三角形・四角形の実積」の学習です。今回は単に面積を求めるだけでなく、与えられた面積から逆算して長さを求める問題や、四角形（台形やひし形等）の公式を用いる問題も出てきます。台形やひし形の面積を求める公式もしっかりと覚えてください。また、前回までと同様にできるだけノートに作図をしてから解くようにしましょう。

○必ず押さえてほしい問題・・・**1**、**2**、**4**、**7**

○宿 題・・・第16回補充問題

◆第17回 平面図形VII

今回は「正方形・長方形に関する応用問題」を中心に学習します。長方形・正方形が題材になっている問題が多いので、一見すると取り組み易そうですが、実はヒトクセある問題が多いです。じっくりと時間をかけて取り組んでもらいたと思います。

○必ず押さえてほしい問題・・・**1**、**2**、**3**、**5**

○宿 題・・・第17回補充問題

◆第 18 回 規則性Ⅱ

第 18 回・19 回は規則性についての学習で、今回は「周期に注目して解く」問題を中心に扱います。周期を見つけた時は、必ず区切りを入れてから考えることを意識してください。また「完全に同じものの繰り返しになっているわけではない」場合でも、組分けすることで解きやすくなる問題もあります。テキストの□2、□5、□6、□7がそれにあたりますので、しっかりと理解してください

○かならず押さえてほしい問題・・・□1、□2、□3、□4

○宿 題・・・第 18 回補充問題

◆第8回 文章題(1)

①【例題】と【練習】

【例題】はすべて動画が用意されています。

【例題 1】 和差算

しっかりと線分図をかきましょう。問題文をよく読んで、大小関係をまちがえないように図をかくことによって、導き出せます。答えが出たら、問題の内容と一致しているか、必ず確かめましょう。

【例題 2】 分配算

これも線分図をかきます。「～より～多い」「～より～少ない」などの表現に惑わされないように注意が必要です。答えが出たら、問題の内容と一致しているか、必ず確かめましょう。

【例題 3】 倍数算

最終の状態の線分図から、はじめの状態にもどした図で考えます。これもしっかり線分図をかくことで求められます。また設問で「はじめの状態」を聞いているのか「後の状態」を聞いているのかまちがえないようにしましょう。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

②【練成問題】

【練成問題】はほとんどの問題が動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

③は、長いひもと短いひもの2本をあわせた線分と、残りのひもの線分とで図をかくと、長いひもと短いひもの長さの和が出せます。そして、長いひもと短いひもとで、線分図をかくというように、2度線分図をかいて考える問題になります。

⑤は、BとCの差が $24-12=12$ になることを理解しましょう。

⑥は、最終的にAとBに入っている水が何Lになっているかに注目します。それぞれに追加した量がわかると解決です。

⑧は、問題文の内容から、みかんの個数が全体の半分であることがわかるでしょうか？

⑨は、弟の初めの所持金を⑩とすると、2人の所持金が⑧ずつになったというところから導いていきます。

⑩は、 $B \div A = 5$ あまり 23 というのを、「BはAの5倍より23大きい」と言い換えられるかどうか

かがカギです。

11は、4つの数から和のとり方がまず6通りあることを理解しなくてはなりません。そして、それぞれの和の大小関係を整理する必要があります。このとき、 $A+D$ と $B+C$ の大小関係が容易に決まらないことに注意しましょう。奇数と偶数の関係などで判断することになります。

12は、**11**と同様のあつかいになりますが、和の種類が5通りしかないので、 $A+D$ と $B+C$ がともに54とならなくてはならないことに注意しましょう。

③ 宿題などについて

【練成問題】の後【A問題】、【B問題】がありますが、ここは宿題となります。【B問題】はレベルの高い問題もありますが、がんばって取り組んでみてください。

◆第9回 文章題(2)

① 【例題】と【練習】

【例題】はすべて動画が用意されています。

【例題 1】 年令算(差が一定)

差が一定であることに注目して解く問題です。同じ量のものをたしても、またはひいても、はじめの差は変わらないことから、線分図などをかいて考えます。【例題】にある形はいずれも基本パターンになるので、頻出問題として必ず身につけてほしいものです。

【例題 2】 和が一定、差の変化に注目

片方からもう片方へと数量が「移動する」とき、2つの量の和は変わらないことに注目します。「わたす」「移す」「あげる」などの言葉が文中にある場合、「和が一定の問題？」と考えてみましょう。

また、「和が一定」タイプの問題であっても、(2)のように実は「差」がポイントになる問題もあります。はじめの「差」は、移動した量の2倍の量だけ変化することをおさえましょう。

【例題 3】 やり取りの問題

「移動の流れ」を図表に表して考えます。このとき、移動する前と後で、どのように変わったか？(何倍になったのか？)を追っていきましょう。あとは最終結果から元の状態にもどっていくことになります。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はほとんどの問題が動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

①は、3人が8本ずつ受け取ったということに注目しましょう。Cは8本分のお金を出したということになります。

②は、100をたした数と、180をひいた数との差が何にあたるのかを線分図をかいてつきとめましょう

⑤は、父は1年に1才ずつ年令が増えますが、子2人の年令の和は、1年に2才ずつ増えることに注意しましょう。表をかくとわかりやすいです。

⑧は、元の中段の冊数を⑩とすれば解きやすくなります。

⑩は、水を受け取った容器は、受け取る前の1.5倍になっていることに気づくかどうかです。はじめはなかなか気づきません。

③ 宿題などについて

【練成問題】の後【A問題】、【B問題】がありますが、ここは宿題となります。【B問題】はレベルの高い問題もありますが、がんばって取り組んでみてください。⑤は少し作業量が多いですが、移動する前とあとでそれぞれの箱の中身がどのように変化したのかを絵をかいて考えてみましょう。どの果物が高いのかは一目でわかってしまいます。